



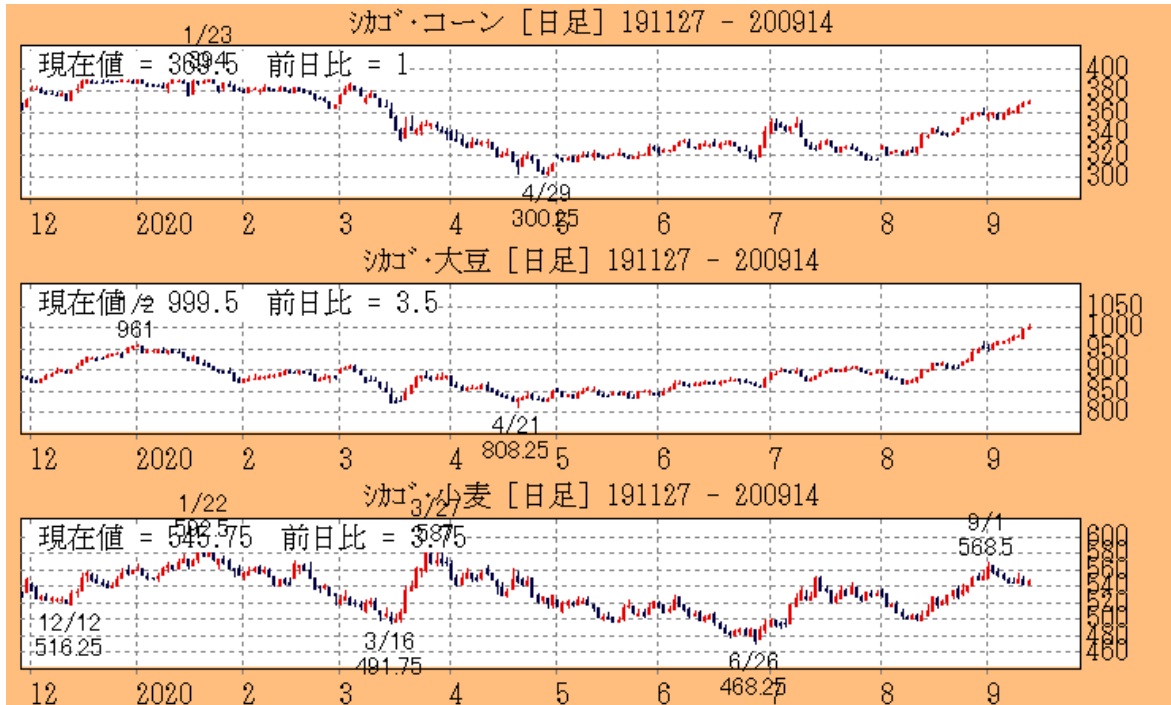
週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシ、大豆とも反落

2020/9/16



15日のシカゴトウモロコシ12月限は前日比▲3.50セントの366.00セント。取引レンジは365.25セント～369.50セント。前日までの続伸で半年ぶりの高値371セントを付けたが、上昇後の修正のための売りや利益確定売りが膨らんだ。また、作柄は低下しているものの現時点ではほぼ平年並に近い水準で、収穫面積が高い水準なことから豊作が見込まれており、米農務省が14日、トウモロコシの収穫は5%が終了したと発表したことから、収穫進行を受けた現物供給量の増加観測が弱材料となった。加えて、米産地では成熟および収穫に適した天気が広がるとの予報が出ていることから収穫が加速する可能性があることも売り要因。ただ、米農務省が15日、米産トウモロコシ12万トンが仕向け地不明で売却されたことを明らかにしたことから、輸出需要が旺盛であることで下げ幅は限られた。

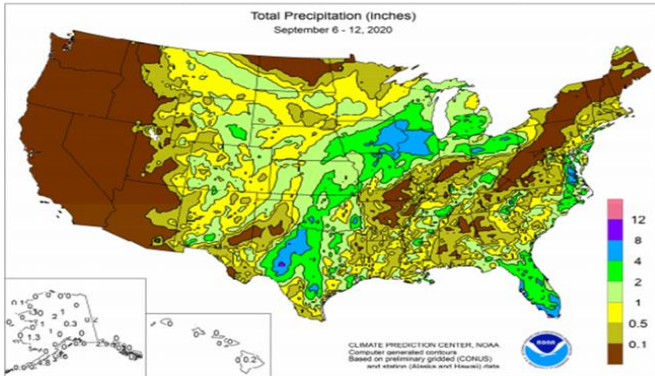
15日のシカゴ大豆11月限は前日比▲8.00セントの991.50セント。取引レンジは990.25セント～1005.7セント。前日高値の1008.75セントを上抜けることができず、大幅続伸の高値警戒感から利益確定売りが膨らんだ。また、米産地では成熟に適した天気が広がることと予測されていることも売り要因となり、中盤には990.25セントまで軟化した。全米油糧種子加工業者協会（NOPA）発表の8月の大豆圧砕量が事前予想を下回り弱い内容となったことも下げ幅を大きくしたもよう。

15日のシカゴ小麦12月限は前日比▲7.50セントの538.25セントと反落。取引レンジは533.75セント～547.00セント。前週末発表のUSDA月例需給報告で20/21年度の世界全体の小麦生産高が過去最高の7億7050万トンになると、供給量予測が上方修正されたことを受けて、輸出競争が激化するとの見通しが広がっており上値が重かった。そのうえに、大豆、コーンが軟調に推移したことで売り優勢となった。

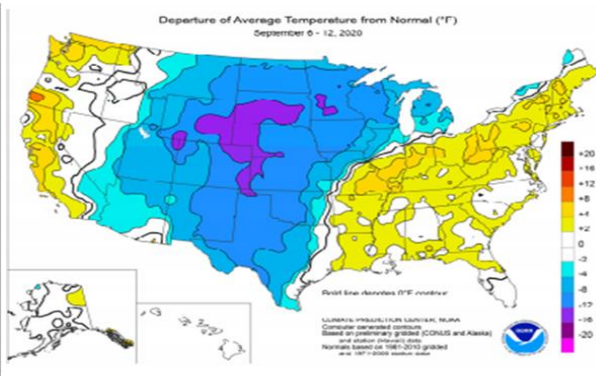


米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bulletin of USDA

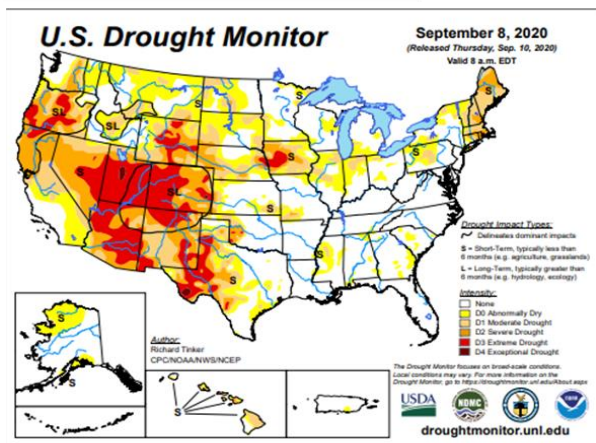
9月6日～9月12日の降雨量



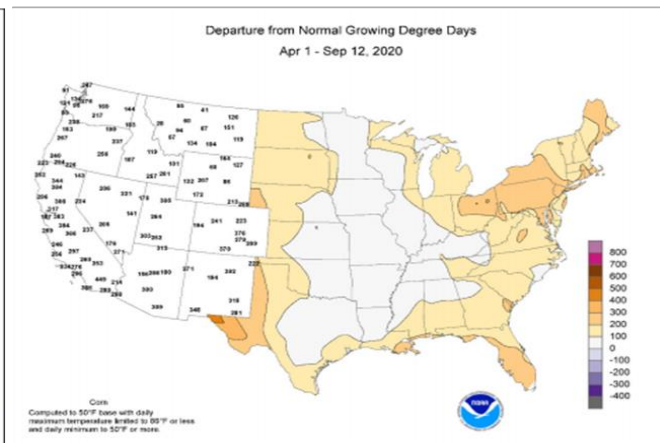
9月6日～9月12日の気温の平年比



9月8日の干ばつモニター



4月1日～9月12日までの生育進捗の平年比



数十の危険で致命的な山火事が西側全域で燃え続け、最大の集中が太平洋沿岸州に影響を与えた。週末までに、カリフォルニア州、オレゴン州、ワシントン州で15件の活発な火災が発生し、コロラド州では2件の植生が焼失した。少なくとも12の山火事が100以上の構造物を破壊したが、約3ダースの死亡者が報告されており、数人の個人がまだ行方不明になっている。一方中部大西洋沿岸平野やテキサス州の一部を含む一部の地域では過度の雨が降り、地元の洪水を引き起こした。ロッキー山脈から中西部の一部で発達し、フィールドワークを遅くしたが、表土の水分を高め、干ばつストレスを軽減し、牧草地や未熟な作物に利益をもたらした。ただ、中部大西洋沿岸平野やテキサス州の一部を含む地域では過度の雨が降り、地元の洪水を引き起こしている。

Crop Progress

トウモロコシ 18州			
Dented	前年度	2020年度	過去5
8月9日	6%	11%	3%
8月16日	13%	23%	7%
8月23日	24%	44%	17%
8月30日	37%	63%	33%
9月6日	51%	79%	71%
9月13日	64%	89%	82%

トウモロコシ 18州			
Matured	前年度	2020年度	過去5
8月23日	2%	5%	3%
8月30日	5%	12%	7%
9月6日	10%	25%	19%
9月13日	16%	41%	32%

トウモロコシ 18州			
Hrvested	前年度	2020年度	過去5
9月13日	3%	5%	5%

トウモロコシ

作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	21%	61%	12%	73%
5月31日	1%	3%	21%	61%	15%	76%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	23%	57%	15%	72%
6月28日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
7月5日	1%	4%	23%	54%	16%	70%
7月12日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月19日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月26日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月2日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月9日	2%	6%	21%	53%	18%	71%
8月16日	3%	7%	21%	52%	17%	69%
8月23日	4%	8%	24%	49%	15%	64%
8月30日	5%	9%	24%	48%	14%	62%
9月6日	5%	9%	25%	46%	18%	64%
9月13日	5%	10%	25%	46%	14%	60%
前年度	4%	10%	31%	44%	11%	55%



Crop Progress

大豆			18州
Drooping Leaves	前年度	2020年度	過去5年平均
8月23日	2%	4%	4%
8月30日	2%	8%	8%
9月6日	7%	20%	16%
9月13日	13%	37%	31%

春小麦			18州
Harvesed	前年度	2020年度	過去5年平均
8月2日	2%	5%	10%
8月9日	6%	15%	25%
8月16日	14%	30%	43%
8月23日	32%	49%	62%
8月30日	50%	69%	77%
9月6日	66%	82%	87%
9月13日	75%	92%	92%

冬小麦			18州
作付け	前年度	2020年度	過去5年平均
9月6日	1%	5%	3%
9月13日	6%	10%	8%

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	24%	60%	12%	72%
6月28日	1%	4%	25%	58%	13%	71%
7月5日	1%	4%	24%	58%	14%	72%
7月12日	2%	5%	24%	57%	14%	71%
7月19日	2%	5%	25%	54%	15%	69%
7月26日	1%	5%	24%	54%	15%	69%
8月2日	1%	5%	22%	57%	15%	72%
8月9日	1%	4%	21%	57%	17%	74%
8月16日	2%	5%	21%	56%	16%	72%
8月23日	2%	6%	23%	55%	14%	69%
8月30日	3%	7%	24%	53%	13%	66%
9月6日	3%	7%	25%	52%	13%	65%
9月13日	3%	8%	26%	50%	13%	63%
前年度	4%	10%	32%	45%	9%	54%

9月13日の米国産トウモロコシのDentが89%（前年は64%、過去5年平均は82%）Maturedは41%（前年は25%、過去5年平均は32%）トウモロコシの作柄は優と良が60%と前週から▲4%低下。（前年は55%）トウモロコシの収穫は5%完了（前年は3%、過去5年平均は5%）

大豆は、落葉が37%完了、（前年は13%、過去5年平均は31%）作柄は優と良が63%と前週から▲2%低下。（前年は54%）

春小麦の収穫は92%完了（前年は75%、過去5年平均は92%）冬小麦の作付けが10%（前年は6%、過去5年平均は8%）

USDAの8月17日付Year Bookより

過去90年間の米国産トウモロコシの作付面積

米国のトウモロコシ作付面積の推移（単位：百万エーカー）

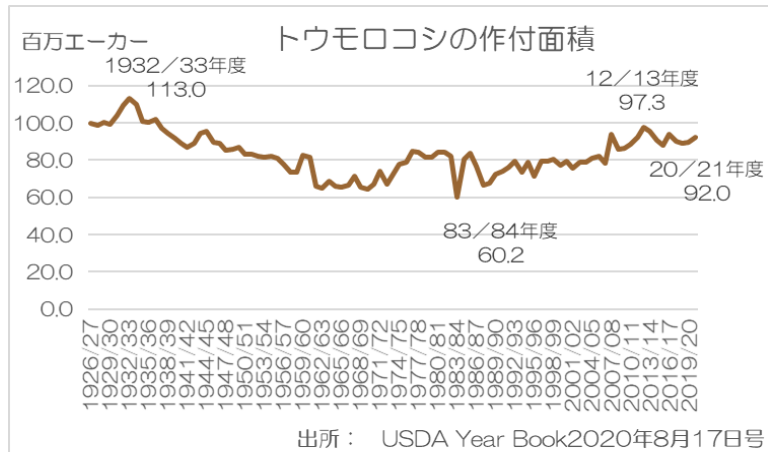
穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積	穀物年度	作付面積
1931/32	109.4	1941/42	86.8	1951/52	83.3	1961/62	65.9	1971/72	74.2	1981/82	84.1	1991/92	76.0	2001/02	75.7	2011/12	91.9
1932/33	113.0	1942/43	88.8	1952/53	82.2	1962/63	65.0	1972/73	67.1	1982/83	81.9	1992/93	79.3	2002/03	78.9	2012/13	97.3
1933/34	109.8	1943/44	94.3	1953/54	81.6	1963/64	68.8	1973/74	72.3	1983/84	60.2	1993/94	73.2	2003/04	78.6	2013/14	95.4
1934/35	100.6	1944/45	95.5	1954/55	82.2	1964/65	65.8	1974/75	77.9	1984/85	80.5	1994/95	78.9	2004/05	80.9	2014/15	90.6
1935/36	100.0	1945/46	89.3	1955/56	80.9	1965/66	65.2	1975/76	78.7	1985/86	83.4	1995/96	71.5	2005/06	81.8	2015/16	88.0
1936/37	102.0	1946/47	88.9	1956/57	77.8	1966/67	66.4	1976/77	84.6	1986/87	76.6	1996/97	79.2	2006/07	78.3	2016/17	94.0
1937/38	97.2	1947/48	85.0	1957/58	73.2	1967/68	71.2	1977/78	84.3	1987/88	66.2	1997/98	79.5	2007/08	93.5	2017/18	90.2
1938/39	94.5	1948/49	85.5	1958/59	73.4	1968/69	65.1	1978/79	81.7	1988/89	67.7	1998/99	80.2	2008/09	86.0	2018/19	88.9
1939/40	91.6	1949/50	86.7	1959/60	82.7	1969/70	64.3	1979/80	81.4	1989/90	72.3	1999/00	77.4	2009/10	86.4	2019/20	89.7
1940/41	88.7	1950/51	82.9	1960/61	81.4	1970/71	66.9	1980/81	84.0	1990/91	74.2	2000/01	79.6	2010/11	88.2	2020/21	92.0
10年平均	100.7	10年平均	88.4	10年平均	79.9	10年平均	66.4	10年平均	78.6	10年平均	74.7	10年平均	77.5	10年平均	82.8	10年平均	91.8

第二次世界大戦前は平均1億エーカーとかなり大きな面積でトウモロコシが作付けされていたが、1960年代は平均6,640万エーカーまで減少、その後徐々に増加して2010年代は平均9,180万エーカーまで拡大している。



過去最大の米国のトウモロコシ作付面積は、1932/33年度の1億1300万エーカーであった。

過去最低は83/84年度の6020万エーカー、戦後の最大は12/13年度の9730万エーカー、2021年度は9200万エーカーで過去の中では多い方に属する。



過去160年間の米国産トウモロコシの生産推移

米国のトウモロコシ生産量推移 (単位: 百万ブッシェル)

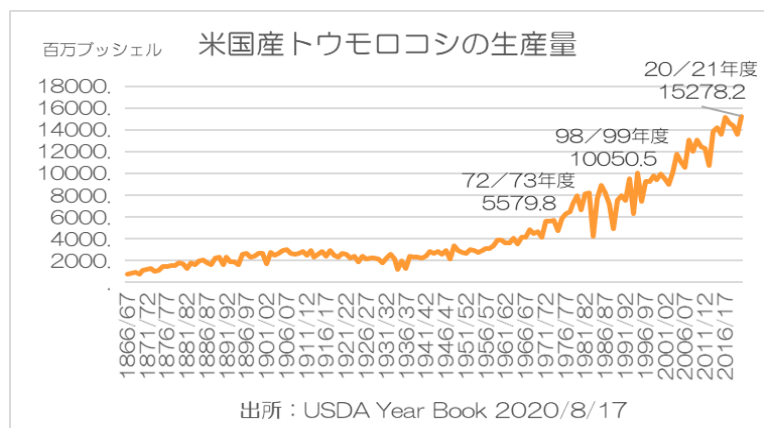
穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量
1871/72	1141.7	1881/82	1244.8	1891/92	2335.8	1901/02	1715.8	1911/12	2474.6	1921/22	2556.9	1931/32	2229.9	1941/42	2414.5
1872/73	1279.4	1882/83	1755.3	1892/93	1897.4	1902/03	277.4	1912/13	2947.8	1922/23	2229.5	1932/33	2578.7	1942/43	2801.8
1873/74	1008.3	1883/84	1652.2	1893/94	1900.4	1903/04	2515.1	1913/14	2272.5	1923/24	2429.6	1933/34	2104.7	1943/44	2668.5
1874/75	1058.8	1884/85	1947.8	1894/95	1615.	1904/05	2686.6	1914/15	2523.8	1924/25	1860.1	1934/35	1146.7	1944/45	2801.6
1875/76	1450.3	1885/86	2057.8	1895/96	2534.8	1905/06	2954.2	1915/16	2829.	1925/26	2382.3	1935/36	2001.4	1945/46	2577.5
1876/77	1478.2	1886/87	1782.8	1896/97	2671.1	1906/07	3032.9	1916/17	2425.2	1926/27	2140.2	1936/37	1258.7	1946/47	2916.1
1877/78	1515.9	1887/88	1604.6	1897/98	2287.6	1907/08	2613.8	1917/18	2908.2	1927/28	2218.2	1937/38	2349.4	1947/48	2108.3
1878/79	1564.5	1888/89	2250.6	1898/99	2351.3	1908/09	2566.7	1918/19	2441.3	1928/29	2261.	1938/39	2300.1	1948/49	3307.
1879/80	1752.	1889/90	2294.3	1899/00	2645.8	1909/10	2611.2	1919/20	2341.9	1929/30	2135.	1939/40	2341.6	1949/50	2946.2
1880/81	1706.7	1890/91	1650.5	1900/01	2662.	1910/11	2852.8	1920/21	2695.1	1930/31	1757.3	1940/41	2206.9	1950/51	2764.1
10年平均	1395.6	10年平均	1824.1	10年平均	2290.1	10年平均	2632.3	10年平均	2585.9	10年平均	2197.	10年平均	2051.8	10年平均	2730.6

米国のトウモロコシ生産量推移 (単位: 百万ブッシェル)

穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量	穀物年度	生産量
1951/52	2628.9	1961/62	3597.8	1971/72	5646.3	1981/82	8118.7	1991/92	7474.8	1991/92	7474.8	2001/02	9502.6	2011/12	12314.
1952/53	2980.8	1962/63	3606.3	1972/73	5579.8	1982/83	8235.1	1992/93	9476.7	1992/93	9476.7	2002/03	8966.8	2012/13	10755.1
1953/54	2881.8	1963/64	4019.2	1973/74	5670.7	1983/84	4174.3	1993/94	6337.7	1993/94	6337.7	2003/04	10087.3	2013/14	13830.7
1954/55	2707.9	1964/65	3484.3	1974/75	4701.4	1984/85	7672.1	1994/95	10050.5	1994/95	10050.5	2004/05	11805.6	2014/15	14217.3
1955/56	2873.	1965/66	4102.9	1975/76	5840.8	1985/86	8875.5	1995/96	7400.1	1995/96	7400.1	2005/06	11112.2	2015/16	13602.
1956/57	3075.3	1966/67	4167.6	1976/77	6289.2	1986/87	8225.8	1996/97	9232.6	1996/97	9232.6	2006/07	10531.1	2016/17	15148.
1957/58	3045.4	1967/68	4860.4	1977/78	6505.	1987/88	7131.3	1997/98	9206.8	1997/98	9206.8	2007/08	13037.9	2017/18	14609.4
1958/59	3356.2	1968/69	4449.5	1978/79	7267.9	1988/89	4928.7	1998/99	9758.7	1998/99	9758.7	2008/09	12043.2	2018/19	14340.4
1959/60	3824.6	1969/70	4687.1	1979/80	7928.1	1989/90	7532.	1999/00	9430.6	1999/00	9430.6	2009/10	13067.2	2019/20	13617.3
1960/61	3907.	1970/71	4152.2	1980/81	6639.4	1990/91	7934.	2000/01	9915.1	2000/01	9915.1	2010/11	12425.3	2020/21	15278.2
10年平均	3128.1	10年平均	4112.7	10年平均	6206.9	10年平均	7282.7	10年平均	8828.4	10年平均	8828.4	10年平均	11257.9	10年平均	13771.2

第二次世界大戦前は1870年代の14億ブッシェルであったが、その後生産量は右肩上がりに上昇し、1970年代に50億ブッシェルを超え、2000年代には100億ブッシェルを超えた。20/21年度は152億ブッシェルと過去最大になっている。

右のグラフのように、落ち込む年はあるものの、基本的には右肩上がりに増産しており、1970年代に50億ブッシェルを超え、98/99年度に100億ブッシェルを超え、20/21年度は152億ブッシェルとなっている。





過去90年間のトウモロコシの生産推移

米国のトウモロコシ単収推移 (単位：ブッシェル/エーカー)

穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収
1901/02	18	1911/12	24	1921/22	28	1931/32	25	1941/42	31	1951/52	37
1902/03	29	1912/13	29	1922/23	26	1932/33	27	1942/43	35	1952/53	42
1903/04	27	1913/14	23	1923/24	28	1933/34	23	1943/44	33	1953/54	41
1904/05	28	1914/15	26	1924/25	22	1934/35	19	1944/45	33	1954/55	39
1905/06	31	1915/16	28	1925/26	27	1935/36	24	1945/46	33	1955/56	42
1906/07	32	1916/17	24	1926/27	26	1936/37	19	1946/47	37	1956/57	47
1907/08	27	1917/18	26	1927/28	26	1937/38	29	1947/48	29	1957/58	48
1908/09	27	1918/19	24	1928/29	26	1938/39	28	1948/49	43	1958/59	53
1909/10	26	1919/20	27	1929/30	26	1939/40	30	1949/50	38	1959/60	53
1910/11	28	1920/21	30	1930/31	21	1940/41	29	1950/51	38	1960/61	55
10年平均	27.3	10年平均	26.1	10年平均	25.6	10年平均	25.1	10年平均	35.1	10年平均	45.7

米国のトウモロコシ単収推移 (単位：ブッシェル/エーカー)

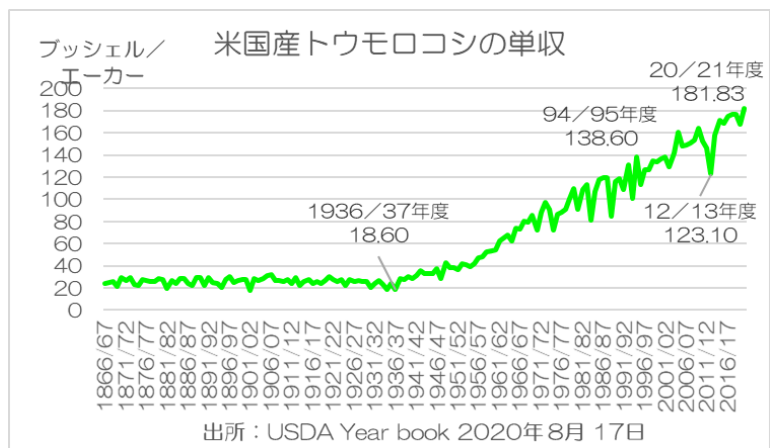
穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収	穀物年度	単収
1961/62	62	1971/72	88	1981/82	108.90	1991/92	109	2001/02	138	2011/12	147
1962/63	65	1972/73	97	1982/83	113.20	1992/93	132	2002/03	129	2012/13	123
1963/64	68	1973/74	91	1983/84	81.10	1993/94	101	2003/04	142	2013/14	158
1964/65	63	1974/75	72	1984/85	106.70	1994/95	139	2004/05	160	2014/15	171
1965/66	74	1975/76	86	1985/86	118.00	1995/96	114	2005/06	148	2015/16	168
1966/67	73	1976/77	88	1986/87	119.40	1996/97	127	2006/07	149	2016/17	175
1967/68	80	1977/78	91	1987/88	119.80	1997/98	127	2007/08	151	2017/18	177
1968/69	80	1978/79	101	1988/89	84.60	1998/99	134	2008/09	153	2018/19	176
1969/70	86	1979/80	110	1989/90	116.30	1999/00	134	2009/10	164	2019/20	167
1970/71	72	1980/81	91	1990/91	118.50	2000/01	137	2010/11	153	2020/21	182
10年平均	72.3	10年平均	91.5	10年平均	108.7	10年平均	125.2	10年平均	148.8	10年平均	164.4

第二次世界大戦前は1870年代の20ブッシェル・エーカー台であったが、その後単収は右肩上がりに上昇し、1970年代に91ブッシェル/エーカーと5倍弱になり、2000年代には150ブッシェル/エーカーに迫り、20/21年度は182ブッシェルと過去最大になっている。

右のグラフのように、戦前に比べて単収は約9倍に上昇している。戦後の単収の改善は遺伝子組み換え種子によるものと思われる。

20/21年度は過去最高の181.83ブッシェルと見込まれている。

2012/13年度のように干ばつの影響で落ち込むときもある。19/20年度は春の長雨の影響があった。種子の改善はあったとしても、依然と単収は天候に左右されている。



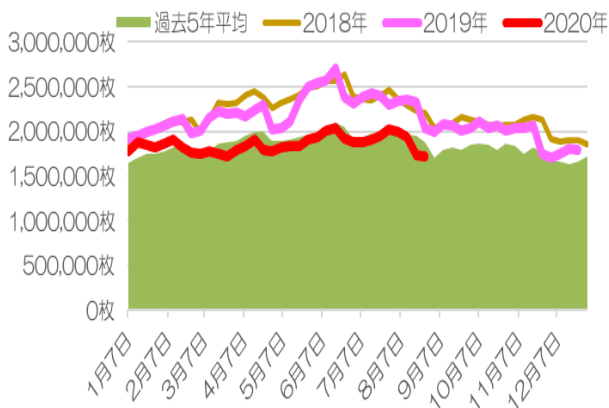
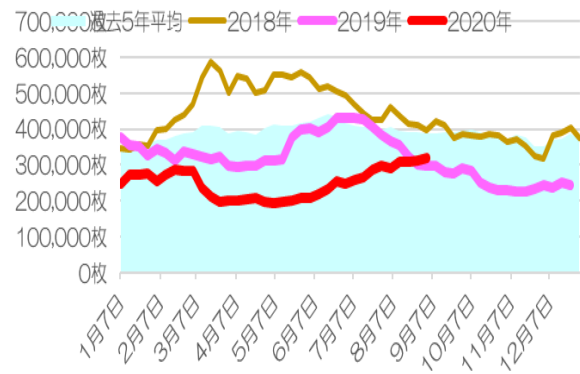


シカゴトウモロコシに対するファンドの建玉

ネット買い残が大幅に増加

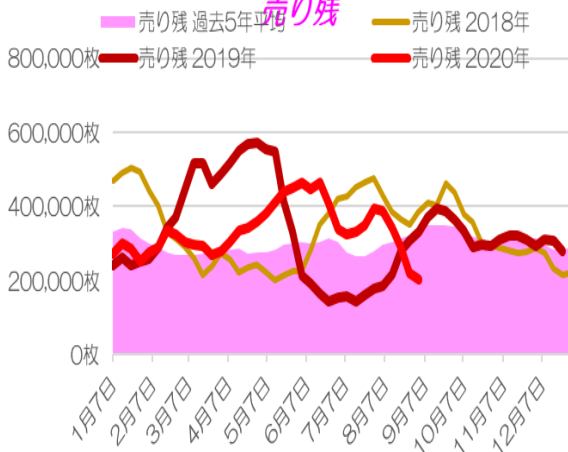
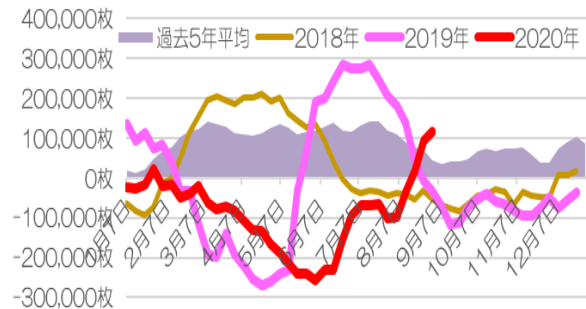
トウモロコシのファンドの建玉						
までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
6月2日	+1,905,933枚	+207,884枚	+449,746枚	▲241,862枚	▲151枚	¢324.3
6月9日	+1,938,786枚	+207,823枚	+464,925枚	▲257,102枚	▲15,240枚	¢327.5
6月16日	+2,012,716枚	+217,848枚	+447,688枚	▲229,840枚	+27,262枚	¢329.0
6月23日	+2,034,732枚	+232,914枚	+463,664枚	▲230,750枚	▲910枚	¢325.0
6月30日	+1,926,269枚	+255,607枚	+407,788枚	▲152,181枚	+78,569枚	¢341.5
7月7日	+1,872,744枚	+246,736枚	+339,954枚	▲93,218枚	+58,963枚	¢343.5
7月14日	+1,876,486枚	+256,234枚	+326,141枚	▲69,907枚	+23,311枚	¢326.0
7月21日	+1,905,548枚	+263,916枚	+331,593枚	▲67,677枚	+2,230枚	¢322.8
7月28日	+1,950,332枚	+285,024枚	+349,572枚	▲64,548枚	+3,129枚	¢320.0
8月4日	+2,030,923枚	+295,757枚	+396,307枚	▲100,550枚	▲36,002枚	¢320.3
8月11日	+1,990,550枚	+289,827枚	+388,034枚	▲98,207枚	+2,343枚	¢323.5
8月18日	+1,936,499枚	+307,743枚	+342,963枚	▲35,220枚	+62,987枚	¢341.8
8月25日	+1,730,455枚	+309,004枚	+290,665枚	+18,339枚	+53,559枚	¢354.5
9月1日	+1,722,881枚	+312,416枚	+220,948枚	+91,468枚	+73,129枚	¢358.0
9月8日	+1,751,115枚	+318,688枚	+202,343枚	+116,345枚	+24,877枚	¢361.8
前月比	+28,234枚	+6,272枚	▲18,605枚	+24,877枚	▲48,252枚	+¢3.75
2カ月前比	▲121,629枚	+71,952枚	▲137,611枚	+209,563枚	▲34,086枚	+¢18.25

9月8日のシカゴトウモロコシに対する、前週から買いが6,272枚増加し、売りは▲1万8,605枚減少し、ネット買い残は+2万4,877枚増加し5週連続で増加している。

シカゴトウモロコシに対するファンドの
取組高シカゴトウモロコシに対するファンドの
買い残

シカゴトウモロコシに対するファンドの

売り残

シカゴトウモロコシに対するファンドの
ネット買い残



今後の予想

9月13日の米国産トウモロコシの作況は、Dentが89%（前年は64%、過去5年平均は82%）Maturedは41%（前年は25%、過去5年平均は32%）で生育状況は平年を上回っている。作柄は優と良が60%と前週から▲4%低下しているが、前年は55%であり、60%はこれ以上なら良いというぎりぎりの作柄である。収穫は5%完了で平年並み。

過去からのデータで見ると、作付面積も単収も過去最高域にあることがわかる。そのため生産量も過去最大と

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
 会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
 メールアドレス：kondo@commi.cc